

清新中学校だより 清風

令和3年12月1日
第190号

「読解力」が社会に及ぼす影響

校長 江戸谷 智章

小中高生の読解力が低下していると言われるようになって久しくなります。

その根拠の一つに、今から2年ほど前、ある国際調査の結果が様々な報道や講演会等で取り上げられたことがありました。その国際調査というのは、OECD（経済協力開発機構）加盟国を中心とした、世界の79カ国・地域の15歳の生徒およそ54万人を対象にした学習到達度テスト（PISA）というもので、大きく3つの分野について調査がされたものです。中でも「読解力」を測る調査では、日本は79カ国・地域の平均を上回る高得点のグループに位置していたものの、前回の調査から7つもランクを落とし15位となり、これまでの調査以来、過去最低となったというものでした。



この日本の中高生の読解力の低下に注目した人に、国立情報学研究所の新井紀子教授という方がおいでです。新井教授は2017年に、約2万5千人の中高校生を対象に読解力の調査をしています。ここでその調査問題の一つを紹介したいと思いますので少し考えてみてください。

【問題】下の①の文と②の文の意味は同じですか、それとも異なりますか。

- ①「幕府は、1639年、ポルトガル人を追放し、大名には沿岸の警備を命じた」
 - ②「1639年、ポルトガル人は追放され、幕府は大名から沿岸の警備を命じられた」
- 『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』（新井 紀子著 東洋経済新報社）から一部抜粋



上記の問題の答えは言うまでもなく「①と②の文の意味は異なる」です。ところが、この問題における中学生の正答率は57%にとどまり、およそ10人に4人はこの文の意味の違いが理解できなかったというのです。

実は、学校の中でもいくつか心配される場面が見られます。国語に限らず様々なテストの文章問題において、設問の問題文そのものを誤って解釈してしまったために答えが導き出せなかったり、さらには無回答になってしまったりという傾向が見られています。

新井教授は日本人の読解力の低下の原因の一つに、インターネットの普及に伴い、スマホが子どもたちの間にも浸透し、新聞を購読しない家庭が増え、同時に大人も子どももじっくり読書をするという習慣がなくなり、結果、共通の語彙や常識も減ってきたのではないかと語っています。

確かに今の時代、SNSが発達しコミュニケーションツールも充実してはいるものの、他者との意思疎通が上手く行われているかという点と少々疑問に思います。

言うまでもなく、SNSでのコミュニケーションは事務的なやりとりをする上ではとても便利な道具ですが、そもそも2行や3行の短い文章でのやりとりで、心の奥底までを理解し合おうとすること自体きわめて難しいものです。こういったことが影響しているかはわかりませんが、昨今の報道にもあるように、ちょっとした意見のくい違いからキレてしまったり、自分とは異なる考えをもつ人に対して必要以上に攻撃したりと、時間をかけてお互いの一致点を見い出していこうとする調整力のようなものが、大人でさえも失われつつあるように感じます。



とかく読解力というと、入試問題を解く上での必要な知識や能力と思われるがちですが、読解力が十分に身につけていないことで、相手の話す言葉の背景にどんな意味がかくされているのか、また、自分の発する言葉が周りにどんな影響を及ぼすのかなどといったことが理解できず、閉鎖的な人間関係を作り出す要因となっているようにも思うのです。

様々な価値観がうごめく現代社会において、自分と異なる考えをもつ人と、立場を越えて上手にやりとりするためには、自らの思考の幅を広げていかねばなりません。ある著名な作家は、『「読む力」がその人のコミュニケーション力の天井だ』とも言っています。（注）。自分自身を成長させ、心豊かな社会の形成者の一人となるためには、この「読解力」がこれからの時代を大きく左右するような気がしてなりません。

（注）『読解力の強化書』（佐藤優著（株）クロスメディア・パブリッシング）から引用

新旧生徒会長 あいさつ

前生徒会長 玉代勢 りりあ

いつも生徒会活動へ協力していただきありがとうございます。先日、後期第1回の委員会が行われ、本部も代替わりとなりました。私は1年生の後期からずっと本部に所属していたので、とても寂しい気持ちで一杯です。



この3年間で日本も清新中も大きく変わりました。3年前を思い出すと、まだコロナが流行する前で、選挙の時には全クラスを回って自己紹介をしたり、800人以上の生徒の前で演説をしたりしたことをよく覚えています。コロナが流行してから体育館のステージで話すこともなくなり、テレビ放送

が主な手段となった時から、私はどうすれば説明力のある言葉を伝えられるかをよく考えるようになりました。私が一番大切にしていたのが、「物事の本質」を考るといことです。例えば、これまで学校全体で委員会の見直しについて話し合いが行われてきていますが、たくさんの意見が出るうちに論点がずれてしまい、まぜ、委員会を見直す必要があるのかわからなくなることがあります。そんな時、「清新中の委員会は何のためにあるのか」、「現状、その役割が果たされてるのか」、また、「委員会がその役割を果たせるような環境がつけられているのか」などを紙に書いて整理をしました。そうすることで、自分が何をすべきかが明確になります。これは勉強も同じで、自分の現状と課題を明確にすることが大切なのです。卒業するまでの3年間を無駄にせず、価値のある時間にするためにも、物事の本質を大事にしてください。

最後に、委員会活動の見直しは後期に引き継がれます。これからもご協力お願いします。

新生徒会長 安藤 光汰

こんにちは、生徒会長に就任しました安藤光汰です。一年間、精一杯頑張りますので宜しくお願いいたします。今回は、僕が生徒会活動で大切にしている三つのことを紹介します。

一つ目は、多面的に考えることです。多面的に考えるというのは、様々な視点から考えるということです。生徒会は、一つの多面体（面がたくさん集まってできた立体）です。面を一つ一つ見て慎重に考えていきたいと思ひます。

二つ目は、つながりです。大きく分けると二つのつながりがあります。一つは、生徒会本部と各委員会のつながりです。生徒会本部と各委員会のつながる手段を増やして連携していきたいと思ひます。もう一つは、生徒会本部と全校生徒の皆さんとのつながりです。生徒会本部からのアンケートに協力してもらおうなどといったことはこれまでもありましたが、生徒会本部が行っている活動や、話し合ったことをお知らせすることはあまりありませんでした。これからは、生徒会広報を発行し、活動内容などをお知らせしたいと思ひます。



三つ目は、疑問を持つことです。物理学者のニュートンは、「リンゴは木から落ちるのに、なぜ月は落ちないのだろうか？」という疑問を持ち万有引力を発見しました。このように小さな疑問は大きな問題を解決する糸口になるのです。

この三つを大切に、比類なき中学校をつかっていきたいと思ひています。

12・1月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

12月

- 1日 (水) PTA実行委員会
- 2日 (木) 保健委員会 諸活動なし
- 3日 (金) ときわぎ級読み聞かせ
受検用個人写真撮影 (希望者)
- 4日 (土) さがみはら生徒会長会議
- 6日 (月) 国際教室おはなし会 諸活動なし
- 9日 (木) 生徒会委員会 諸活動なし
- 10日 (金) ときわぎ級地域探検
- 13日 (月) 諸活動なし
- 16日 (木) 諸活動なし
- 17日 (金) 生徒会中央議会
- 20日 (月) 学期末保護者面談～23日 (木)
1年学期末OT 諸活動なし
- 21日 (火) 2年学期末OT 諸活動再登校
- 22日 (水) 3年学期末OT 諸活動再投稿
- 23日 (木) 大掃除 諸活動なし
- 24日 (金) 2学期終業式 諸活動なし
- 25日 (土) 冬期休業～1月10日 (月)
- 29日 (水) 学校閉庁日～1月3日 (月)

令和4年1月

- 1日 (土) 元旦
- 11日 (火) 3学期始業式 諸活動なし
- 13日 (木) 諸活動なし
- 15日 (土) 市P連賀詞交換会
- 17日 (月) 諸活動なし
- 18日 (火) 教育相談①
- 19日 (水) PTA実行委員会 教育相談②
- 20日 (木) 生徒会委員会 教育相談③
- 22日 (土) 3年諸活動なし～25日
- 24日 (月) 諸活動なし
- 25日 (火) 3年定期試験 (5科) 教育相談④
3年共通選抜出願 (郵送) ～27日
- 26日 (水) 教育相談⑤
- 27日 (木) 小中一貫の日 5校時終了後下校
諸活動なし
- 28日 (金) 新入生保護者説明会
教育相談⑥ 生徒会中央議会
3年共通選抜出願 (窓口)
- 31日 (月) 3年共通選抜出願 (窓口) ～ 2/1
諸活動なし